



# 片中だより 3月号

発行・編集:吹田市立片山中学校  
令和7年(2025年)2月28日 発行

～自ら学び 自ら考え 自らつながる片中生の育成を目指して～

〒565-0835 大阪府吹田市竹谷町35-1 TEL:06-6387-1041 <http://www2.suita.ed.jp/school/jhs/06-katayama>

## 出逢いを大切に

校長

寒い日が続きましたが、ようやく日差しの中に春の温かさを感じる季節になりました。桜の木の芽が膨らみ、季節が春へとゆっくり移り始めています。

今週、1、2年生の学年末テストが終わりました。来週は、学年最後の行事となる合唱コンクールがあります。この1年間で大きく成長した姿を見せてくれることと思います。3年生は、3月14日に卒業式を迎えることになりました。9年間の義務教育を終えて、片中を卒業する日がどんどん近づいてきています。当たり前のように毎日過ごしてきた片中での生活ですが、卒業式を終えると、もう二度と同じようにここで過ごすことはありません。仲間も、先生も、教室も、校舎も・・・今と同じようにいることはできなくなります。ぜひ、残された一日一日を大切に、片中での学校生活を送ってくださいね。

『人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。

しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに。』

これは、教育者であり哲学者でもあった森信三先生の言葉です。この言葉は、人の『出逢いにおける必然性』を示していて、自分にとって本当に必要な人とは、運命のように必ず出逢うことになるという考えです。そして、その出逢いのタイミングも、早すぎず遅すぎず、最もふさわしい時に訪れるとしています。この世に生まれた時の家族との出逢いがまさにそのことだと思っています。

皆さんは、これまで友達や先生と出逢う中で、喜んだり楽しんだり、もしかしたら苦勞したり悩んだりもしたかもしれません。いろんな思いはあると思いますが、その出逢いは、きっと皆さんにとって何らかの成長につながっているとと言えます。さらに、この言葉は、

『しかし、うちに求める心なくば、

眼前にその人ありといえども、縁は生じず。』

と続きます。皆さんの心の中に、好奇心や探求心といった気持ちがなければ、目の前にその人がいても、縁はないものになってしまうとも言っています。

3年生の皆さんは、新たな環境へと旅立ち、進級する1年生、2年生の皆さんも、新しい出逢いが待っています。これから先、どんな人と出逢い、どんな学びがあるかわかりませんが、多くの出逢いがきっと皆さんの人生を豊かにすることでしょう。春は、新しいスタートの季節です。これまでの出逢いに感謝し、これからの出逢いに希望を持って、それぞれの道を歩んでいきましょう。



## ～ 学校の様子 ～

### 入学説明会

令和7年度入学する保護者を対象に、入学説明会を実施しました。校長の話の後、教頭から学校の概要を説明、生徒指導主事から学校生活についてお話ししました。先生たちが日々、深い愛情をもって片中生を指導していることを伝えました。また、養護教諭から学校保健について、事務から学校諸費の徴収等についてお話しさせていただきました。



本校は、市内で3番目に大きい規模となる中学校です。人と人が対面する場所だからこそ、様々なことも起こります。生きる力をつける機会と捉え、互いに成長できる中学校としていけるといいですね。寒い中、お集まりいただき、ありがとうございました。

### 学年末テスト



3年生は、1月30・31日に、1年生2年生は、2月25・26・27日に学年末テストを実施しました。今年度最後の定期テストです。楽しい行事だけでなく、学習にも真剣に取り組んでいました。



## ～ お知らせ ～

紙面のみの掲載

とさせていただきます。

紙面のみの掲載

とさせていただきます。

